

保健医療情報システム検討会について

1. 検討の目的

- 急速に進展する情報化社会に対応し、今後の医療の分野における情報化を確実に推進するため、平成14年から概ね5年間を見据えた達成目標と推進方策を示したアクションプランを含む保健医療分野における情報化グランドデザインを作成する。

2. これまでの取組

- 平成13年3月28日第一回検討会を開催
- 8月 8日グランドデザインの骨子となる第一次提言公表
- 12月26日グランドデザインを厚生労働省へ提言

3. 検討会メンバー (○:座長)

石川 准	静岡県立大学国際関係学部教授
井上通敏	日本医療情報学会長
大山永昭	東京工業大学教授
○開原成允	医療情報システム開発センター理事長
齊藤孝親	日本大学松戸歯学部口腔診断学教室助教授
坂本すが	N T T東日本関東病院看護部長
西島英利	日本医師会常任理事
樋口範雄	東京大学法学部教授
藤本利雄	保健医療福祉情報システム工業会
細羽 実	日本画像医療システム工業会

保健医療分野の情報化にむけての グランドデザイン策定について

医療分野のIT化の推進に係る政府提言

(1) 「経済財政諮問会議」閣議決定 (H13. 6. 26)

・「骨太方針」

医療サービスのIT化(電子カルテ、電子レセプト)の推進

(2) 「IT戦略本部」了承 (H13. 9. 14)

・e-Japan重点計画、e-Japan2002プログラム
の加速・前倒し

医療情報化のためのグランドデザインの年内策定
(電子カルテ、レセプトの電算化等のための具体的な
普及目標、期限、普及方策を明示)

厚生労働省医療制度改革試案 (H13. 9. 25)

平成14年度から5年間の保健医療の情報化計画・目標達成のための道筋と方策を示す

医療制度改革大綱 (H13. 11. 29)

電子カルテ等について目標と達成年次を年内に策定し、
その実現に向けた支援措置を講じる

(H13. 12. 26)

「保健医療分野の情報化にむけての
グランドデザイン」策定・公表

保健医療分野の 情報化にむけてのグランドデザイン（概要）

「情報化が我が国医療の将来に大きな影響を与えるものであることを踏まえ、これを国として戦略的に進めていくことが極めて重要」

医療制度改革大綱(H13.11.29)



当面、以下のような具体的な施策について、目標、時期、国の講ずべき施策をできる限り明確に示しながら、推進する。

- ・ 電子カルテ・レセプト電算化などの医療のIT化の推進
電子カルテ等について目標と達成年次を年内に策定し、その実現に向けた支援措置を講じる。

保健医療分野の情報化にむけてのグランドデザイン

医療情報システム構築のための達成目標の設定

- 【電子カルテ】
- ・平成16年度まで
全国の二次医療圏毎に少なくとも一施設は電子カルテシステムの普及を図る
 - ・平成18年度まで
全国の400床以上の病院の6割以上に普及
全診療所の6割以上に普及
- 【レセプト電算処理システム】
- ・平成16年度まで
全国の病院レセプトの5割以上に普及
 - ・平成18年度まで
全国の病院レセプトの7割以上に普及

アクションプラン

目標達成のための戦略を踏まえ、国家的視点から実現方策を提示することとし官民の役割分担、達成目標等を明示したアクションプランを策定

保健医療分野の情報化にむけてのグランドデザインの策定について

〔平成13年12月26日〕

〔厚生労働省〕

厚生労働省においては情報技術を活用した今後の望ましい医療の実現を目指して平成13年3月28日より保健医療情報システム検討会において平成14年度から概ね5年間の医療の情報化を戦略的に推進するための方策の検討を進めてきた。

この間、本年9月25日に厚生労働省において「医療制度改革試案」を公表し、本年11月29日には「医療制度改革大綱」が政府・与党改革協議会において取りまとめられた。

同大綱においては「電子カルテ等について目標と達成年次を年内に策定し、その実現に向けた支援措置を講じる。」こととされている。

このような中、今般保健医療情報システム検討会において「保健医療分野の情報化にむけてのグランドデザイン」が取りまとめられた。

このグランドデザインにおいては「医療の将来像を踏まえた医療の課題と情報化」、「医療情報システム構築のための戦略」、「情報化の進展にともなう保健医療福祉総合ネットワーク化への展開」、特に医療情報システムの構築においては電子カルテ・レセプト電算処理システムの目標と達成年次、国の講ずるべき施策等が盛り込まれている。

厚生労働省においてはこのグランドデザインを踏まえ、電子カルテ・レセプト電算処理システムの目標の達成に努めるとともにグランドデザインで描かれた情報技術を活用した今後の望ましい医療の実現に向け、各般の施策を行っていくこととする。